

セクシュアリティと不妊にかかわるカップル・家族支援

家族心理・家族臨床を考えるうえで、セクシュアリティの理解は不可欠です。しかしながら性やセクシュアリティに関する事柄は、対象者のみならず援助者にとっても自身の非常にプライベートな体験や信条と結びついているため、扱うことに困難を覚える方も少なくないでしょう。また、特に心理臨床の文脈で考えると、フロイトの時代から性にかかわる事柄は中核的な問題であることは誰もが知っていても、意外とセクシュアリティの概念や性問題への対処について学ぶ機会がなかったという方も多いのではないのでしょうか。一方で個人のセクシュアリティは時代や文化、社会から大きな影響を受け、変化したり抑圧されたりします。セクシュアリティの問題にかかわる際には、個人の内界だけでなく、カップル・家族・社会との関係性でとらえるシステム的な理解が重要となるでしょう。さらに現代的なトピックとして、セクシュアリティを構成する要素の一つでもある「生殖」の問題も扱います。特に、生殖技術（不妊治療）が家族に与えた影響を解説しながら、現代社会において子どもを産み育てることや、それが叶わないことの意味について考えたいと思います。

本研修の構成としては、午前は現代的なセクシュアリティの理解について基本的な事項から概説し、性問題を扱う上での臨床的な態度について考えます。午後は生殖医療の現状を含めて不妊の人々を取り巻く心理社会的問題についてお話しします。セクシュアリティや不妊・生殖の多様性について学ぶことは、ジェンダー・センシティブリティを高め、皆さんの臨床や研究の幅を広げることに役立つと考えています。性問題や不妊の人との臨床経験は問いませんので、気軽に参加してみてください。

記

講師：平山史朗（東京プロダクティブカウンセリングセンター）

日時：【A. ライブ配信＋録画視聴】2023年10月8日（日）10:00～16:00（昼食1時間）
【B. 録画視聴のみ】2023年10月24日（火）0:00～11月24日（木）23:55

定員：【A. ライブ配信＋録画視聴】100名
【B. 録画視聴のみ】は人数制限無し

内容：セクシュアリティの基本概念について
性問題の理解と援助の基本
生殖医療の実際と不妊体験者を取り巻く現状
生殖・不妊の問題を抱えたカップルや家族への心理

申込期間：

【A. ライブ配信＋録画視聴】2023年8月8日（火）0:00～10月2日（月）23:55 締め切り
【B. 録画視聴のみ】2023年8月8日（火）0:00～10月23日（月）23:55 締め切り

参加区分と参加費：【A. ライブ配信＋録画視聴】と【B. 録画視聴のみ】は同一料金です。

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- * 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。